

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！



「第11回マヌス賞」募集開始

高機能樹脂ベアリングの使用事例コンテスト 「第11回マヌス賞」の一般公募を開始

幅広い分野の 使用事例を公募

イグス株式会社(東京都墨田区)は、このほどイグス製高機能樹脂ベアリングのユーザー使用事例を表彰するコンテスト「マヌス賞」の一般公募を開始した。

今回で第11回目となる「マヌス賞」は、産業用途におけるイグス製高機能樹脂ベアリングの革新的なユーザー使用事例を表彰するコンテスト。最優秀賞の「マヌス賞」金賞には、イグスより5,000ユーロの賞金が贈られる。

機械・装置の軽量化 メンテナンスフリー 環境保護にも寄与

イグスの高機能樹脂ベアリングは、

金属ベアリングよりも軽いため、機械やシステムの重量を削減することができるほか、エネルギー効率を向上させることができる。固体潤滑剤が組み込まれているため追加の潤滑剤が不要で、環境保護にも貢献する。あらゆる用途で使用可能な画期的な製品で幅広い分野で活用されている。

イグスは、樹脂ベアリングに焦点を当て、2003年から隔年で「マヌス賞」を開催。実際、イグスの樹脂ベアリングを使用したことで、それまで課題となっていた問題を改善できたユーザー事例は枚挙に暇がない。

2021年は41カ国 計582件が応募

隔年開催のマヌス賞は、前回の2021年に41カ国から582件の過去最多の

応募があった。

「マヌス賞」では、シリーズ製品からカスタム製品まですべてのイグス製ベアリング製品が対象で、応募事例の試作品が一つでもあれば審査対象となる。

技術面・コスト面に優れ、独創性にあふれる事例にマヌス金賞・銀賞・銅賞が授与されるほか、特にサステナビリティに優れたプロジェクトにグリーンマヌス賞も用意されている。

応募締め切りは 2023年2月10日

応募締め切りは2023年2月10日。受賞者は、ハノーバー・メッセ2023で表彰する。

マヌスの詳細については、下記URLを参照。

2021年マヌス賞 受賞者の事例

■マヌス金賞

◆運搬作業車PowerBully

Kässbohrer Geländefahrzeug社(ドイツ)は、不整地でも重量物を搬送できる運搬作業車PowerBullyの可動軸部に、大型のイグリデュールTX1すべり軸受を採用した。汚れやすくメンテナンスの手間がかかる金属製ベアリングからの置き換え事例。

■マヌス銀賞

◆無線操縦式・バッテリー駆動の伐採くさび

Forstreich社(ドイツ)は、林業作業の安全性を高める無線操縦式の伐採くさびを開発した。イグリデュールGすべり軸受とドライリンWリニアガイドが使用されている。

■マヌス銅賞

◆日除けファサードシステム

Arcora社(フランス)は、形状記憶合金を使用した日除けファサードシステムに、イグリデュールJフランジ型ベアリング、イグボール球面ベアリング、ドライリンN薄型ガイドなど複数のイグス製ベアリング製品を採用した。

■グリーンマヌス賞

◆太陽電池式ゴミ箱

Finbin社(フィンランド)は、ソーラーエネルギーでゴミを圧縮するゴミ箱を開発した。

ゴミ箱のハッチ、ペダル等にイグリデュールGすべり軸受が使用されている。

なお、マヌス賞に関する詳細については、以下URLを参照。

(※資料提供：イグス)



■マヌス賞に関する詳細 → <https://www.igus.co.jp/info/manus-award>

■イグスURL → <https://www.igus.co.jp/>